

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の設置

兵庫県立大学大学院 シミュレーション学研究科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

目次

| | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 調査対象大学院等の概要等 | 1 |
| 2 | 授業科目の概要 | 5 |
| 3 | 施設・設備の整備状況、経費 | 8 |
| 4 | 既設大学等の状況 | 9 |
| 5 | 教員組織の状況 | 12 |
| 6 | 留意事項に対する履行状況等 | 15 |
| 7 | その他全般的事項 | 16 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

兵庫県

(2) 大学名

兵庫県立大学大学院（シミュレーション学研究科）

(3) 大学の位置

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-28

（兵庫県神戸市西区学園西町8-2-1）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 届出時 | 変更状況 | 備考 |
|------|----------------------------------|------|----|
| 知事 | (イド トシゾウ) 井戸敏三 (平成13年8月) | | |
| 学長 | (キヨハラ マサヨシ) 清原正義 (平成22年4月) | | |
| 研究科長 | (サトウ テツヤ) 佐藤哲也 (平成23年4月) | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
平成23年度に報告する内容 → (23)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成21年度開設の博士後期課程の場合（平成23年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

| 調査対象研究科等の名称（学位） | 修業年限 | 設置時の計画 | | 備考 |
|--|------|--------|------|----|
| | | 入学定員 | 収容定員 | |
| シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻 修士（シミュレーション学） | 2年 | 20人 | 40人 | |

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

| 報告年度 区分 | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------------|---------------------|---------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 人 () [] | 人 () [] | 人 () [] | 人 () [] | 人 20 (-) [-] | 人 (-) [-] | 1.15倍 | |
| 志願者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 36 (1) [1] | - (-) [-] | | |
| 受験者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 33 (1) [1] | - (-) [-] | | |
| 合格者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 24 (1) [1] | - (-) [-] | | |
| B 入学者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 23 (1) [1] | - (-) [-] | | |
| 入学定員超過率 B/A | | | | | 1.15 | | | |

- (注) ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

| 学 年 | 報告年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 備 考 |
|-----|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [] | [] | [] | [] | [1] | [-] | 23 | - | |
| 2年次 | / | | / | | / | | | | |
| 3年次 | / | | / | | / | | | | |
| 計 | [] | [] | [] | [] | [1] | [] | 23 | | |

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 退学者数 (a) | 在学者数 (b) | 入学者に対する 退学者数の割合 (a/b) |
|--------------------------------------|------------------|------------|-----------------------------|
| 平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日) | 計 [] | (累積)計 [] | % |
| | うち平成20年度入学者 人 | うち平成20年度 人 | |
| | (主な退学理由) | | |
| 平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日) | 計 [] | (累積)計 [] | % |
| | うち平成20年度入学者 人 | うち平成20年度 人 | |
| | うち平成21年度入学者 該当なし | うち平成21年度 人 | |
| (主な退学理由) | | | |
| 平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日) | 計 [] | (累積)計 [] | % |
| | うち平成20年度入学者 人 | うち平成20年度 人 | |
| | うち平成21年度入学者 人 | うち平成21年度 人 | |
| | うち平成22年度入学者 人 | うち平成22年度 人 | |
| (主な退学理由) | | | |

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 |
|--------------------|-----------------|------------------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| フォローアップ科目 | コンピュータの基礎 | 1前 | | | 2 | 1 | 3 | | | | |
| | 数学の基礎 | 1前 | | | 2 | 1 | 3 | | | | |
| | 統計の基礎 | 1前 | | | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | 経済の基礎 | 1前 | | | 2 | | 2 | | | | |
| | 産業の基礎 | 1前 | | | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | 環境の基礎 | 1前 | | | 2 | 2 | 1 | | | | |
| 共通必修科目 | シミュレーション学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | データ処理の基礎 | 1前 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | モデリングの基礎 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | データ処理演習 | 1前 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | モデリング演習 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | シミュレーションの基礎 | 1後 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | シミュレーション技法の基礎演習 | 1後 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | 可視化の基礎 | 1前 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | 可視化の基礎演習 | 1後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| 選択科目 (※は分野必修科目) | 政策問題 | 政策シミュレーション基礎Ⅰ：ミクロ経済※ | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 政策シミュレーション基礎Ⅱ：マクロ経済※ | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 政策シミュレーション演習Ⅰ：応用ミクロ※ | 2前 | | 1 | | 1 | | | | |
| | | 政策シミュレーション演習Ⅱ：応用マクロ※ | 2前 | | 1 | | 1 | | | | |
| | | 政策シミュレーション特論Ⅰ：財政政策 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 政策シミュレーション特論Ⅱ：金融政策 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 産業の 新展開 | 環境経済論 | | | 2 | | | | | | |
| | | 産業システムとシミュレーション※ | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 産業技術とシミュレーション※ | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | シミュレーション技法の応用演習※ | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 産業システムシミュレーション特論 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 産業技術シミュレーション特論 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 産業技術とイノベーション | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 自然災害 対策 | 生産システム工学 | 1後 | | 2 | | | | | | |
| | | 自然災害とシミュレーションⅠ：建築と災害 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 自然災害とシミュレーションⅡ：環境と災害 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 耐震建築シミュレーション演習 | 2前 | | 1 | | 1 | | | | |
| | | 環境変動シミュレーション演習 | 2前 | | 1 | | 1 | | | | |
| | | 自然災害とシミュレーション特論Ⅰ：建築と災害 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 自然災害とシミュレーション特論Ⅱ：環境と災害 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| 選択科目Ⅱ | 共通 | 地域減災計画論 | 2前 | | 2 | | | | | | |
| | | 津波防災とシミュレーション | 2前 | | 2 | | | | | | |
| | | データ処理特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | モデリング特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 可視化の応用演習 | 2前 | | 1 | | 1 | | | | |
| | | 複雑性シミュレーション | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 複雑性シミュレーション演習 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | | 超並列コンピュータの最適化 | 2前 | | 2 | | | | | | |
| オープンシステムサイエンス論 | 2前 | | 2 | | | | | | | | |
| 数理科学 | 2前 | | 2 | | | | | | | | |
| 自主課題研究 | 自主課題研究 | 2通 | 2 | | | 4 | 8 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|----------------------|------------|------------------------|------|----|----|----------|-----|----|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 選択科目 (単位認定・修了要件外) | 政策問題 | 医療経済・医療経営論 [応用情報科学研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | | 医療制度論 [経営研究科] | 1・2後 | | | 2 | | | | | | |
| | | 地域情報化論 [応用情報科学研究科] | 1・2後 | | | 2 | | | | | | |
| | | 地域産業論A [経済学研究科] | 1・2後 | | | 2 | | | | | | |
| | | イノベーション論A [経営研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | 産業の 新展開 | 情報科学基礎 [応用情報科学研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | | 高信頼システム論 [応用情報科学研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | | リスクマネジメント [応用情報科学研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | | 生産マネジメントA [経営研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | | マネジメント・サイエンス [経営研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | 自然災害 対策 | 防災情報システム論 [応用情報科学研究科] | 1・2後 | | | 2 | | | | | | |
| | | 環境情報論 [応用情報科学研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |
| | | 地理情報システム論 [応用情報科学研究科] | 1・2前 | | | 2 | | | | | | |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にして。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告し履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)

(2) 授業科目数

| 認可時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|----------|----------|----------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 10 | 科目 30 | 科目 19 | 科目 59 | 科目 [0] | 科目 [0] | 科目 [0] | 科目 [0] | |

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | 該当科目なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | 該当科目なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(神戸ポートアイランドキャンパス)

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | | | |
|---------------------|------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|---|--|--|------------|------------------|---|--|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | 借用面積：3,999.93㎡ 借用期間：平成23年2月1日から19年、 共用する他の学校：兵庫 県立淡路景観園芸学校園 芸療法課程（1年制：15名） | | | | |
| | 校舎敷地 | 325,973.92㎡ | 17,172.73㎡ | 0.00㎡ | 343,146.65㎡ | | | | | |
| | 運動場用地 | 79,775.50㎡ | 0.00㎡ | 0.00㎡ | 79,775.50㎡ | | | | | |
| | 小 計 | 405,749.42㎡ | 17,172.73㎡ | 0.00㎡ | 422,922.15㎡ | | | | | |
| | そ の 他 | 129,639.19㎡ | 112,635.88㎡ | 0.00㎡ | 242,275.07㎡ | | | | | |
| | 合 計 | 535,388.61㎡ | 129,808.61㎡ | 0.00㎡ | 665,197.22㎡ | | | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | 借用期間：平成23年2月1日から19年、 共用する他の学校：兵庫 県立淡路景観園芸学校園 芸療法課程（1年制：15名） | | | | | |
| | 133,348.31㎡ (133,348.31㎡) | 10,273.47㎡ (10,273.47㎡) | 288.00㎡ (288.00㎡) | 143,909.78㎡ (143,909.78㎡) | | | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 演 習 室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | | | | | |
| | 7 室 | 0 室 | 0 室 | 4 室 (補助職員 0人) | 室 (補助職員 0人) | | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | | | | | |
| | シミュレーション学研究科 | | | 12 室 | | | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 応用情報科学研究科と 共用 | | |
| | シミュレーション学研究科 | 12,278 [3,907] (11,590 [3,182]) | 82 [33] (82 [33]) | 4,693 [4,693] (4,693 [4,693]) | 236 (262) | () | - (-) | | | |
| | 計 | 12,278 [3,907] (11,590 [3,182]) | 82 [33] (82 [33]) | 4,693 [4,693] (4,693 [4,693]) | 236 (262) | () | - (-) | | | |
| | | | | | | | | | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閲 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | | | | |
| | 180.00㎡ | | 24 | | 15,000 | | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 | | | | | | | |
| | 0.00㎡ | | - | | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 図書購入費には電子 ジャーナル・データベースの整 備費（運用コスト含む） を含む。 共同研究費等は大学全 体 | |
| | | 教員1人当り研究費等 | 2,204千円 | 2,204千円 | 図書購入費 | 23,406千円 | 14,874千円 | 4,700千円 | | |
| | 共同研究費等 | 900,000千円 | 900,000千円 | 設備購入費 | 81,767千円 | 81,869千円 | 81,869千円 | | | |
| | 学生1人当り 納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第1年次欄、上段は入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者又はその配偶者若しくは1親等の親族である者及び学部から引き続き当該大学院に入学するもの。下段はそれ以外の者。 | | | | | | |
| | | 817.8千円 958.8千円 | 535.8千円 | | | | | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 特定財源（入学考査料）及び一般財源 | | | | | | | | |

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 兵庫県立大学 | | | | | | | 備考 | |
|----------------------|----------|-------|------|-------|-------------|-----------|------------|--------------------------------------|------------------|
| | 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 定員超過率 | | 開設年度 |
| 経済学部 | 年 | 人 | 年次 | 人 | | 学士 | 1.05 | 平成 | 兵庫県神戸市西区学園西町 |
| 国際経済学科 | 4 | } 200 | - | } 800 | | (経済学) | 1.05 | 16年度 | 8丁目2番地の1 |
| 応用経済学科 | 4 | | - | | | | | | |
| 経営学部 | | | | | | 学士 | 1.03 | 平成 | 兵庫県神戸市西区学園西町 |
| 組織経営学科 | 4 | } 230 | - | } 920 | | (経営学) | 1.03 | 16年度 | 8丁目2番地の1 |
| 事業創造学科 | 4 | | - | | | | | | |
| 工学部 | | | | | | 学士 | 1.04 | 平成 | 兵庫県姫路市書写2167番地 |
| 電子情報電気工学科 | 4 | 126 | - | 504 | (工学) | 1.03 | 16年度 | | |
| 機械システム工学科 | 4 | 126 | - | 504 | | 1.04 | | | |
| 応用物質学科 | 4 | 100 | - | 400 | | 1.05 | | | |
| 理学部 | | | | | | 学士 | 1.13 | 平成 | (2-4年次)兵庫県赤穂郡上郡町 |
| 物質科学科 | 4 | 90 | - | 360 | (理学) | 1.16 | 16年度 | 光都3丁目2番1号 | |
| 生命科学科 | 4 | 85 | - | 340 | | 1.09 | | (1年次)兵庫県姫路市書写2167番地 | |
| 環境人間学部 | | | 3年次 | | | 学士(環境人間学) | 1.01 | 平成 | (2-4年次)兵庫県姫路市新在家 |
| 環境人間学科 | 4 | 200 | 5 | 810 | | 1.01 | 16年度 | 本町1丁目1番12号 (1年次)兵庫県姫路市書写2167番地 | |
| 看護学部 | | | 3年次 | | | 学士 | 1.01 | 平成 | (2-4年次)兵庫県明石市北王子 |
| 看護学科 | 4 | 100 | 10 | 420 | (看護学) | 1.01 | 16年度 | 町13番71号 (1年次)兵庫県神戸市西区学園西町8丁目2番地の1 | |
| 経済学研究科 | | | | | | | 0.84 | 平成 | 兵庫県神戸市西区学園西町 |
| 経済学専攻 (博士前期課程) | 2 | 10 | - | 20 | 修士 (経済学) | 1.05 | 16年度 | 8丁目2番地の1 | |
| 経済学専攻 (博士後期課程) | 3 | 5 | - | 15 | 博士 (経済学) | 0.60 | | | |
| 地域公共政策専攻 (博士前期課程) | 2 | 10 | - | 20 | 修士 (経済学) | 1.10 | 平成 23年度 | | |
| 経営学研究科 | | | | | | | 0.60 | 平成 | 兵庫県神戸市西区学園西町 |
| 経営学専攻 (博士後期課程) | 3 | 6 | - | 18 | 博士 (経営学) | 0.60 | 16年度 | 8丁目2番地の1 | |

| | | | | | | | |
|----------------------|---|----|---|----|------|------------|------------------------|
| 工学研究科 | | | | | 1.42 | 平成 | 兵庫県姫路市書写2167番地 |
| 電気系工学専攻 (博士前期課程) | 2 | 35 | - | 70 | 1.56 | 16年度 | |
| 電気系工学専攻 (博士後期課程) | 3 | 9 | - | 27 | 0.25 | | |
| 機械系工学専攻 (博士前期課程) | 2 | 35 | - | 70 | 1.83 | | |
| 機械系工学専攻 (博士後期課程) | 3 | 9 | - | 27 | 0.14 | | 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3丁目2番1号 |
| 物質系工学専攻 (博士前期課程) | 2 | 30 | - | 60 | 2.31 | | |
| 物質系工学専攻 (博士後期課程) | 3 | 7 | - | 21 | 0.32 | | |
| 物質理学研究科 | | | | | 0.81 | 平成 | 兵庫県赤穂郡上郡町光都 |
| 物質科学専攻 (博士前期課程) | 2 | 32 | - | 64 | 1.20 | 16年度 | 3丁目2番1号 |
| 物質科学専攻 (博士後期課程) | 3 | 11 | - | 33 | 0.21 | | |
| 生命理学研究科 | | | | | 0.93 | 平成 | 兵庫県赤穂郡上郡町光都 |
| 生命科学専攻 (博士前期課程) | 2 | 28 | - | 56 | 0.96 | 16年度 | 3丁目2番1号 |
| 生命科学専攻 (博士後期課程) | 3 | 9 | - | 27 | 0.73 | | |
| 環境人間学研究科 | | | | | 1.04 | 平成 | 兵庫県姫路市新在家本町 |
| 環境人間学専攻 (博士前期課程) | 2 | 30 | - | 60 | 1.09 | 16年度 | 1丁目1番12号 |
| 環境人間学専攻 (博士後期課程) | 3 | 6 | - | 18 | 1.16 | | |
| 看護学研究科 | | | | | 0.82 | 平成 | 兵庫県明石市北王子町 |
| 看護学専攻 (博士前期課程) | 2 | 25 | - | 50 | 0.64 | 16年度 | 13番71号 |
| 看護学専攻 (博士後期課程) | 3 | 4 | - | 12 | 1.08 | | |
| 応用情報科学研究科 | | | | | 0.88 | | 兵庫県神戸市中央区港島南町 |
| 応用情報科学専攻 (博士課程前期) | 2 | 40 | - | 80 | 0.87 | 平成 16年度 | 7丁目1-28 |
| 応用情報科学専攻 (博士課程後期) | 3 | 10 | - | 30 | 0.83 | 平成 18年度 | |
| シミュレーション学研究科 | | | | | 1.15 | | 兵庫県神戸市中央区港島南町 |
| シミュレーション学専攻 | 2 | 20 | - | 40 | 1.15 | 平成 23年度 | 7丁目1-28 |
| 会計研究科 | | | | | 1.00 | | 兵庫県神戸市西区学園西町 |
| 会計専門職専攻 (専門職学位課程) | 2 | 40 | - | 80 | 1.00 | 平成 19年度 | 8丁目2番地の1 |

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|----|---|----|--|------|------------|--------------|
| 緑環境景観マネジメント 研究科 | | | | | | 1.07 | | 兵庫県淡路市野島常盤 |
| 緑環境景観マネジメント 専攻 (専門職学位課程) | 2 | 20 | - | 20 | 緑環境景 観マネジメ ント修士 (専門職) | 1.07 | 平成 21年度 | 954番地の2 |
| 経営研究科 | | | | | | 1.16 | | 兵庫県神戸市西区学園西町 |
| 経営専門職専攻 (専門職学位課程) | 2 | 40 | - | 80 | 経営管理 修士(専門 職) ヘルスケア・マ ネジメント修 士(専門 職) | 1.16 | 平成 22年度 | 8丁目2番地の1 |

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻>

(1) 担当教員表

| 認可時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|-----|--------|---------|---|------------|----|--------|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専任 | 教授 | 佐藤 哲也 | 平成23年4月 | コンピュータの基礎 環境の基礎 シミュレーション学概論 産業技術とイノベーション 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 兵頭 志明 | 平成23年4月 | 数学の基礎 産業の基礎 産業システムとシミュレーション 産業技術とシミュレーション 産業システムシミュレーション特論 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 藤原 義久 | 平成23年4月 | 統計の基礎 モデリングの基礎 モデリング演習 モデリング特論 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 永野 康行 | 平成23年4月 | 環境の基礎 自然災害とシミュレーションⅠ：建築と災害 耐震建築シミュレーション演習 自然災害とシミュレーション特論Ⅰ：建築と災害 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 中村 知道 | 平成23年4月 | 数学の基礎 統計の基礎 データ処理の基礎 データ処理演習 データ処理特論 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 伊勢 武史 | 平成23年4月 | 環境の基礎 自然災害とシミュレーションⅡ：環境と災害 環境変動シミュレーション演習 自然災害とシミュレーション特論Ⅱ：環境と災害 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 大野 暢亮 | 平成23年4月 | コンピュータの基礎 可視化の基礎 可視化の基礎演習 可視化の応用演習 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 木村 真 | 平成23年4月 | 経済の基礎 政策シミュレーション基礎Ⅰ：ミクロ経済 政策シミュレーション特論Ⅰ：財政政策 政策シミュレーション演習Ⅰ：応用ミクロ 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 沼田 龍介 | 平成23年4月 | コンピュータの基礎 数学の基礎 シミュレーションの基礎 シミュレーション技法の基礎演習 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 安田 修悟 | 平成23年4月 | 数学の基礎 産業の基礎 産業技術シミュレーション特論 シミュレーション技法の応用演習 自主課題研究 | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 島 伸一郎 | 平成23年4月 | コンピュータの基礎 複雑性シミュレーション 複雑性シミュレーション演習 自主課題研究 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|--------|---------|---|--|--|--|--|--|--|
| 専任 | 准教授 | 真鍋 雅史 | 平成23年4月 | 経済の基礎 政策シミュレーション基礎Ⅱ：マクロ経済 政策シミュレーション特論Ⅱ：金融政策 政策シミュレーション演習Ⅱ：応用マクロ 自主課題研究 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 樋渡 保秋 | 平成23年4月 | 数理学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 所 眞理雄 | 平成23年4月 | オープンシステムサイエンス論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 陰山 聡 | 平成23年4月 | 超並列コンピュータの最適化 | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 奥田 孝一 | 平成23年4月 | 生産システム工学 | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 布引 雅之 | 平成23年4月 | 生産システム工学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 横山 孝雄 | 平成23年4月 | 環境経済論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 石川 永子 | 平成24年4月 | 地域減災計画論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 奥村 与志弘 | 平成24年4月 | 津波防災とシミュレーション | | | | | | |

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

| 認可時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|----------|--------|-------|--------|----------|-----|-----|----|
| 研究指導教員 | 研究指導補助教員 | 計 | 助手 | 研究指導教員 | 研究指導補助教員 | 計 | 助手 | |
| 12 | 0 | 12 | 0 | | | | | |
| (12) | (0) | (12) | (0) | [] | [] | [] | [] | |

- (注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 辞任（就任辞退を含む）等の理由 |
|----|----|--------|-----------------|
| 1 | | | |
| 2 | | 該当なし | |
| 3 | | | |

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|-----------------------|---|--|--------------------|
| 認 可 時 (22年12月) | 想定される卒業後の進路に修了生が確実に進めるよう、履修指導やカリキュラムの内容を充実し、不断の検証を図るとともに、本研究科に入学するにふさわしい学力や実績を有した学生が適切に選抜されるよう、入学者選抜要項の記載や入試方法についても不断の検証を図り、必要に応じ見直すこと。 | 毎講義・演習後のレポート提出や板書方式の講義の徹底などの指導により、学習面の効果が出ている。また、学生は課外活動として、瀬戸内海地域を対象として自主的にデータ収集・モデリングに取り組んでおり、自主性や積極性を引き出すことができている。 (23) 入試方法についても、第1年次入学生の実態を踏まえて検証を行う。(23) | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 | | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 | | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 | | | |

・ 想定される卒業後の進路に修了生が確実に進めるよう、履修指導やカリキュラムの内容を充実し、不断の検証を図るとともに、本研究科に入学するにふさわしい学力や実績を有した学生が適切に選抜されるよう、入学者選抜要項の記載や入試方法についても不断の検証を図り、必要に応じ見直すこと。

(注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

| 認可時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| | 該当なし |

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

シミュレーション学研究科にFD委員会を設置し、検証を行う予定である。さらに、カリキュラムの編成や授業方法及び評価方法の改善等について、外部委員を入れた「教育研究評価委員会（仮称）」を設けた上で、十分な体制が取られているかを検証することとしている。

FD委員会の設置の前段階として、下記のような取組を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況を含む）

前期試験の結果を踏まえ、教育指導の成果、課題について検証を行うため、FD委員会は平成23年秋に設置する予定。

「教育研究評価委員会（仮称）」は次年度入試及びFD委員会での検証結果を踏まえ、外部を入れて委員によりさらなる検討を行うものであるため、平成23年12月頃の設置を予定している。

c 委員会の審議事項（案）

(1) 教育・研究活動の改善の方策に関する事項

(2) 教員の教育能力向上のための研修の実施に関する事項

(3) 学生による授業評価の実施に関する事項

(4) その他教員のFD活動の充実に必要な事項

② 実施状況

開校後約1ヶ月を経過した現在、FD委員会の設置の前段階として、下記の取組を行っている。

a 専任教員ミーティングの実施

原則として毎週1回専任教員ミーティングを開催し、学生の理解度、意欲等を教員が情報共有するとともに、オープンラボ（学生と教員の談話室）において、幅広い話題の意見交換をしている。これにより常に具体的なフォロー策にフィードバックし、教育に反映させている。

b ケア&コンサルティングアワーの実施

月2回水曜日に、学生から授業に対する質問・相談を受ける時間（ケア&コンサルティングアワー）を設けている。加えて、研究科長と学生生活委員長による学生との個別面談を半期に2回程度設けることとしている。（1回実施済み）

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・現状では教員と学生が非常によく一体化しており、研究科の設置の趣旨・目的は当初の計画どおり進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年度に予定している認証評価受審にあわせて、自己点検・評価を実施する予定
- ・なお、全学については平成21年12月に第2期中期計画に係る自己点検・評価を実施し、公表済み

b 公表方法

- ・自己点検・評価実施後、速やかにホームページ上で公表の予定
- ・なお、全学については大学ホームページ上に平成21年12月公表済み

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に認証評価機関による認証評価を受けるべく、関係機関と具体的に調整を進めている。
- ・なお、全学については平成21年度に大学評価・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審し、平成22年3月29日に「大学評価基準を満たしている。」との評価を受けた。（大学ホームページに公表済み）

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年 5月31日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.u-hyogo.ac.jp/sim/index.html>)

(注) ・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。